足利赤十字病院 Japanese Red Cross Ashikaga Hospital

地域に根差す、足利赤十字病院の広報誌

風流鯨

ーかぜながすくじらー

ご自由にお持ち下さい
Take Free

2021.1 Vol.32

Organization Accredited by Joint Commission International

●診療科紹介〈リハビリテーション科〉

●心臓血管病センター(循環器内科部門)部長 沼澤洋平先生の臨床研究論文がJournal of Clinical Medicineに掲載

●COVID-19 Recognition Programの最優秀賞を受賞

●外来・入院患者満足度調査結果

足利赤十字病院と樫の木 幸来母里(さきもり)イルミネーション

TOPICS ●とちぎHACCP更新 ●第二職員宿舎『シャトールージュ日赤』足利市建築・景観賞まちなみづくり部門受賞
●糖尿病週間イベント開催 ●樫の木 イルミネーション点灯 ●野球部活動報告 ●栄養課の窓 ●薬剤の豆知識

診療科紹介

リハビリテーション科

Rehabilitation

急性期から回復期を経て生活期まで。患者さまの活動を育む医学を切れ目なく提供します。

リハビリテーション科部長
中村 智之

医 師
黒﨑 修平

口腔治療室長
寺中　智

口腔ケアリーダー
尾﨑研一郎

歯科医師
河合 陽介

このたび、令和2年9月よりリハビリテーション科部長を拝命いたしました中村智之と申します。私は平成25年4月より足利赤十字病院で勤務しております。

リハビリテーションと言えば脳卒中や整形外科疾患をイメージする方が多いかと思いますが、現在は機能回復・障害克服をはかり活動を育む医学として、多種多様な疾患・障害を対象とします。また、治療が終了した後（回復期）だけでなく、入院後早期（急性期）より治療と併行して開始し、患者さまの機能・能力の低下を予防して早期の改善や退院につなげることがすすめられます。訓練開始当初より退院後の生活（生活期）を想定し、患者さま・ご家族さまへの指導を行い、必要ならば地域の社会資源につなげることも重要な役割です。

当科では医師2名、歯科医師3名、理学療法士31名、作業療法士15名、言語聴覚士10名、歯科衛生士2名が多職種で連携し、急性期よりベッドサイドから訓練・評価を開始します。また、平成23年7月に回復期リハビリテーション病棟50床を開設し、平成30年度からは回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定し、重度の障害を持つ患者さまに対しても、急性期より引き続き日常生活動作の向上、自宅退院を目指して集中的なリハビリテーションを提供しております。退院後は地域の開業医さまや介護保険サービスに引き継がせて頂くことが多いですが、高次脳機能障害やボトックス治療、装具作製、障害認定、その他リハビリテーションに関わる相談は随時外来で対応しております。

急性期から回復期を経て生活期まで、切れ目なくリハビリテーションを提供することを通して、足利、両毛地域の医療と患者さまのより実りある活動に少しでも力添えができるよう、引き続き尽力していきます。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。

心臓血管病センター 沼澤洋平先生の心臓カテーテル治療施行患者におけるヘモグロビン／クレアチニン比と院内予後の関連についての臨床研究論文が海外の英文雑誌Journal of Clinical Medicineに掲載されました。

議論： Association of the Hemoglobin to Serum Creatinine Ratio with In-Hospital Adverse Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention among Non-Dialysis Patients: Insights from a Japanese Nationwide Registry (J-PCI Registry)
著者： Numasawa Y, Inohara T, Ishii H, Yamaji K, Kohsaka S, Sawano M, Kodaira M, Uemura S,Kadota K, Amano T, Nakamura M, Ikari Y.
発表： J Clin Med. 2020 Nov 10;9(11):E3612. doi: 10.3390/jcm9113612.

筆頭著者の沼澤先生らは日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）が運営する多施設心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術:PCI）レジストリー（J-PCI registry）のデータを用いた臨床研究に応募し、PCI施行患者におけるヘモグロビン／クレアチニン比と院内予後の関連についての臨床研究論文を発表しました。

これまでの先行研究からPCI前のヘモグロビン低値（≒貧血）やクレアチニン高値（≒腎機能障害）が術後治療成績の悪化に強く影響することが知られていましたが、これらの因子の複合的な影響について調べた研究はほとんどありませんでした。

今回、沼澤先生らの研究グループは2017年に日本で施行された約16万件に及ぶ心臓カテーテル治療データを解析し、個々の症例における術前の血液中のヘモグロビン値とクレアチニン値の比（Hgb/Cr ratio）によって周術期リスクを層別化できるかどうかについて調べました。その結果、Hgb/Cr ratioが低い症例ほど、死亡や出血を含む周術期合併症リスクが高く、特にHgb/Cr ratioが10を下回る症例においてその傾向が顕著であったことがわかりました。

心臓カテーテルを行う沼澤心臓血管病センター部長（右）

本研究の結果から、先行研究からわかっていたような重度の貧血や重度の腎機能障害を有する症例のみならず、軽度の貧血と軽度の腎機能障害を合併した症例においても心臓カテーテル治療における周術期合併症リスクがかなり高まることが示されました。このような大規模データベースからの研究結果を参考にリスクの層別化を行うことで、心臓カテーテル治療に伴う合併症発生率の軽減につながることが期待されます。

この論文は2020年11月10日に海外の英文誌であるJournal of Clinical Medicine誌に掲載されました。

Beyond the Call of Duty for COVID-19 Recognition Programの最優秀賞を受賞

12月15日（火）に『Beyond the Call of Duty for COVID-19 Recognition Program』の最優秀賞を受賞しました。

『Beyond the Call of Duty for COVID-19 Recognition Program』とは、国際病院連盟（IHF）の加盟国の中で、COVID-19に対して優れた感染対策を実践している医療機関に贈られる賞であり、世界28カ国、103の応募の中から見事最優秀賞に選出されました。

当院は、感染に強い一般病棟の全室個室化を実現し、陰圧仕様のコロナ専用病床に加え、各病棟に前室付陰圧室を10部屋整備しています。陰圧室では透析が必要な感染患者や重症患者の治療も行っています。また、高度なセキュリティーシステムを導入し、患者・スタッフ動線を完全に分けることで、感染・非感染ゾーンを完全分離し、清潔な診療材料の搬入動線と使用済み診療材料・感染性廃棄物などの院内動線が交差することはありません。

さらに、感染対策として来院者全員に手指消毒、AI体温検知カメラによる体温測定、マスク着用の徹底、入院患者への面会禁止などを行っています。その他、会議室や病室、廊下等に抗ウイルス・抗菌液（HBE）を噴霧し、新型コロナウイルスを特異的に不活化しています。加えて紫外線照射による殺菌とエアフィルターのろ過により、空気感染軽減を可能とした最先端のUVGAモバイルフィルターユニットや、緊急時に活用可能となる木製医療用仮設ブースを全国で初めて導入しました。

これらの総合的なCOVID-19への取り組みを、医師を含めた全職員が結束し堅実に実践していることが高く評価され、今回の選出に至りました。コロナ禍の中、『住民を守る感染に強い病院』として、今後も感染防止に努め、コロナ対応と共に通常の地域医療も継続していきます。

最優秀賞の賞状

足利赤十字病院の取組みが紹介された特集記事

抗ウイルス・抗菌液が噴霧された病室

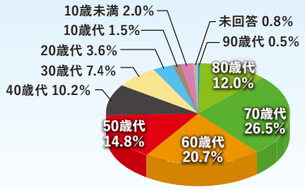
全国で初となる仮設医療用ブースを導入

患者さま満足度アンケート結果

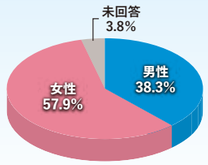
当院では、患者さまの満足度調査を実施しました。今回の調査を通じ、皆さまから頂いた評価を全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。

外来患者さま満足度アンケート結果

実施日:令和2年8月28日(金)　総回答数:392名



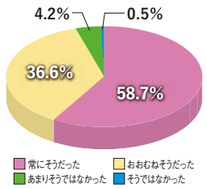
年齢別



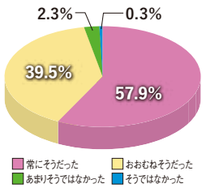
男女比

診療・説明

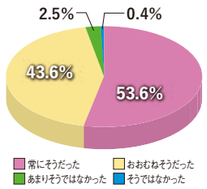
医師はあなたが理解できるように説明しましたか



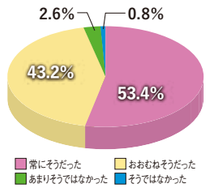
看護師はあなたが理解できるように説明しましたか



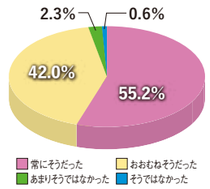
臨床検査技師はあなたが理解できるように説明しましたか



放射線技師はあなたが理解できるように説明しましたか

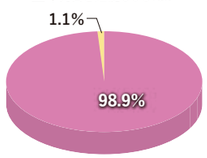


受付事務はあなたが理解できるように説明しましたか

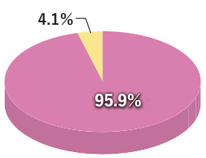


病院での経験

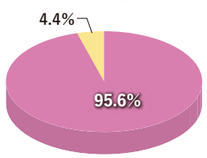
病院スタッフは、あなたのフルネームと生年月日を確認しましたか



病院スタッフは、手指消毒をしていましたか

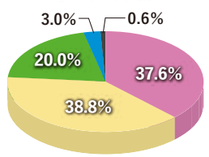


病院スタッフは、痛みの状況を確認しましたか

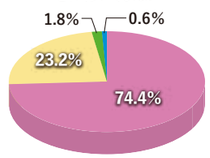


待ち時間

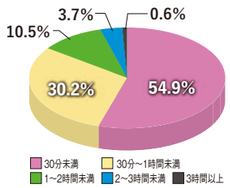
診察の待ち時間はどれくらいでしたか



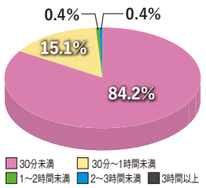
超音波・心電図の待ち時間はどれくらいでしたか



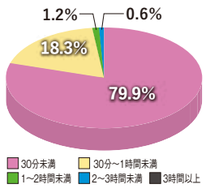
CT・MRIの待ち時間はどれくらいでしたか



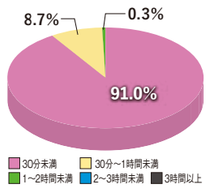
採血・採尿検査の待ち時間はどれくらいでしたか



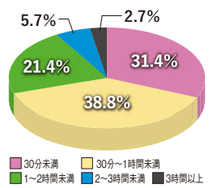
レントゲンの待ち時間はどれくらいでしたか



会計の待ち時間はどれくらいでしたか

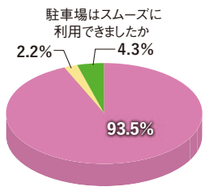


本日、全体の待ち時間はどれくらいでしたか

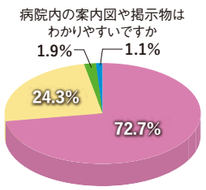


病院の環境

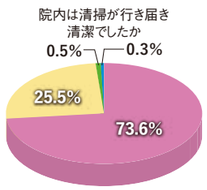
駐車場はスムーズに利用できましたか



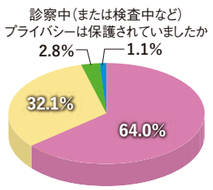
病院内の案内図や掲示物はわかりやすいですか



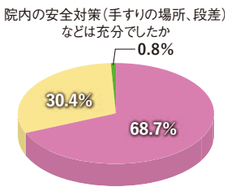
院内は清掃が行き届き清潔でしたか



診察中(または検査中など)プライバシーは保護されていましたか

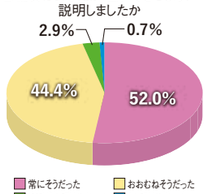


院内の安全対策(手すりの場所、段差)などは充分でしたか

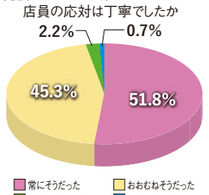


委託職員の接遇

警備員はあなたが理解できるように説明しましたか

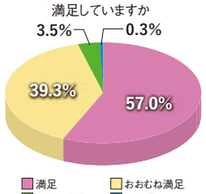


売店・コーヒーショップ・レストランの店員の応対は丁寧でしたか

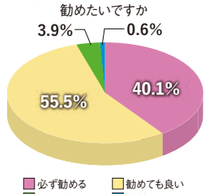


総合評価

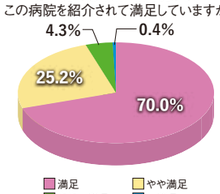
全体としてこの病院に満足していますか



この病院を家族や知人に勧めたいですか

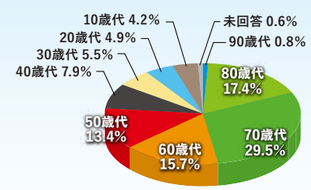


紹介元の診療所や病院から、この病院を紹介されて満足していますか

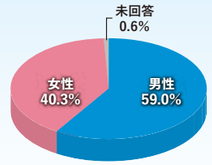


入院患者さま満足度アンケート結果

実施日:令和2年8月1日~31日　総回答数:481名



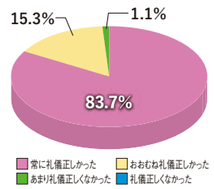
年齢別



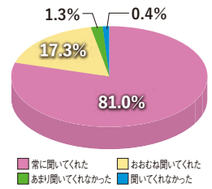
男女比

診療・説明

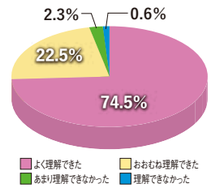
医師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく応対しましたか



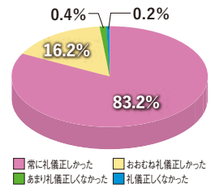
医師はあなたの話をよく聞いてくれましたか



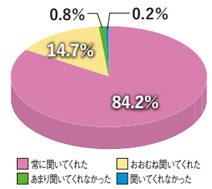
検査や治療に関して、医師はあなたが理解できるように説明しましたか



看護師はあなたに敬意を払い、礼儀正しく応対しましたか

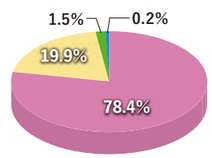


看護師はあなたの話をよく聞いてくれましたか

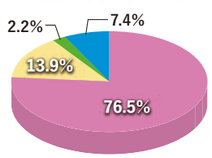


病院での経験

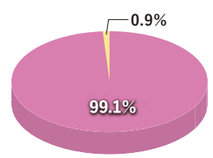
検査や治療などに関して、看護師はあなたが理解できるように説明しましたか



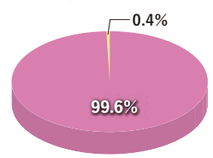
ナースコールを鳴らした後、看護師の対応は適切でしたか



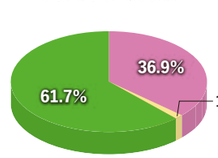
病院スタッフは手指消毒をしていましたか



検査や注射の前に氏名・生年月日を聞かれましたか

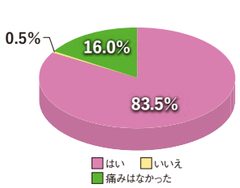


トイレ使用時に介助を求めた時、スタッフはすぐに来ましたか

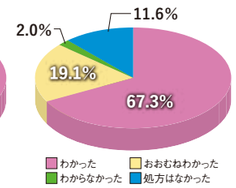


退院後に向けた説明

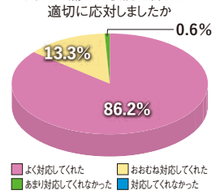
病院スタッフは、あなたの痛みの状況を確認しましたか



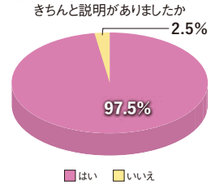
新しい薬を処方される時、病院スタッフからの説明はわかりやすかったですか



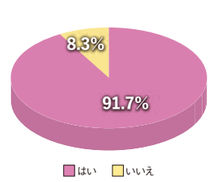
病院スタッフは、あなたの痛みの状況に合わせて適切に応対しましたか



退院後の生活について、医師、看護師、その他スタッフからきちんと説明がありましたか

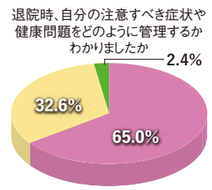


症状や健康問題に関する情報を書面で受けとりましたか

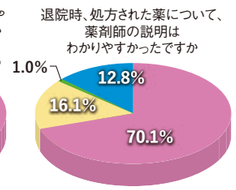


病院の環境

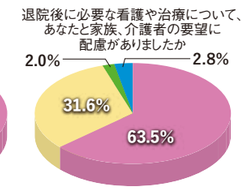
退院時、自分の注意すべき症状や健康問題をどのように管理するかわかりましたか



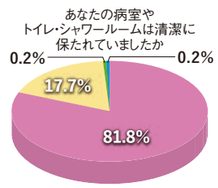
退院時、処方された薬について、薬剤師の説明はわかりやすかったですか



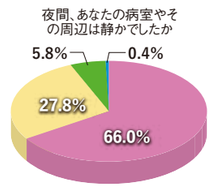
退院後に必要な看護や治療について、あなたと家族、介護者の要望に配慮がありましたか



あなたの病室やトイレ・シャワールームは清潔に保たれていましたか

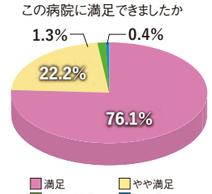


夜間、あなたの病室やその周辺は静かでしたか

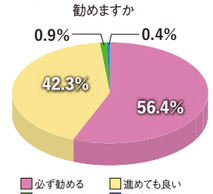


総合評価

今回の入院で、この病院に満足できましたか



この病院を家族や友人に勧めますか



ご協力ありがとうございました。

「とちぎHACCP」更新審査合格!

患者の皆さまに、より安全で安心な食事をご提供します!

「とちぎHACCP」(栃木県食品自主衛生管理認証制度)とは、食中毒防止や異物混入のリスクを低減するため、衛生管理の国際基準であるHACCPによる手法を取り入れて、基本的な衛生管理を確実に実行する施設を認証する制度です。

当院は患者さまに安心・安全な食事提供を行う為に、平成26年に同認証を取得し、以降1年毎の確認審査・3年毎の更新審査を受審してきました。今年度は2度目の更新審査であり、積み上げてきた「衛生管理マニュアル」の見直し・修正を大幅に行いました。見直しを行うにあたり、関係ガイドラインの熟読・当院感染対策チームによる内部監査の実施・検証会議の定期開催等、栄養課スタッフ全員で日々改善活動に励みました。その結果、衛生管理を確実に実行している事が認められました。

今回のとちぎHACCP受審により、さらにパワーアップした衛生管理能力を日々の給食提供に活かしていきます。

▲配膳車

◀とちぎHACCP認定証

第二職員宿舎『シャトールージュ日赤』が足利市建築・景観賞まちなみづくり部門を受賞

▲第二職員宿舎シャトールージュ日赤

11月26日(木)に、足利市民会館において令和2年度(第37回)足利市建築・景観賞表彰式が行われ、足利赤十字病院第二職員宿舎『シャトールージュ日赤』がまちなみづくり部門を受賞し、表彰されました。

足利市建築・景観賞とは、足利の歴史・文化・自然と人が調和し、心地よさを実感できる都市を目指し、都市環境の資質の向上及び都市景観に対する市民の意識の高揚を図るため、良好な景観を創出する建築物、工作物、まちなみ及び魅力的な景観形成に寄与する活動を表彰するものです。

同宿舎は令和2年3月に竣工し、近接する第一職員宿舎『クロワルージュ日赤』と統一のデザインが採用されています。今回の受賞に際しては、敷地の中央に建物を配置したゆとりある空間が周辺の町並み形成に寄与している点や、庭園から溢れる柔らかな照明が夜間景観を創出すると同時に、夜道の安全・防犯にも貢献している点などが高い評価を受けました。これまで『足利赤十字病院』『クロワルージュ日赤』も同賞を受賞しており、次いで3つ目の受賞となりました。

▲表彰式の様子

世界糖尿病デーイベント開催

11月9日(月)～11月15日(日)にホスピタルモールにおいて、世界糖尿病デーイベントを開催しました。

世界糖尿病デーとは、世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)により制定されたもので、毎年11月14日は、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動が行われています。日本では、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となり、各地で啓発活動や著明な建造物を糖尿病のシンボルカラーである「ブルー」でライトアップする「ブルーライトアップ」が実施されています。

当院では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『糖尿病の重症化予防と発症予防』、『サルコペニア・フレイル』をテーマに栄養や運動、糖尿病治療に関する資料の展示のみとして同イベントを実施しました。

当日は、多くの来院者の皆さまが興味深く展示資料を閲覧する様子が見られ、糖尿病への関心の高さが伺えました。

▲世界糖尿病デーイベントの様子

正面玄関前の樫の木 幸来母里(さきもり)のイルミネーションが点灯

11月16日(月)より、正面玄関前の樫の木【幸来母里:(さきもり)】のイルミネーションが点灯しました。この樫の木は、新病院開院時にJA足利さまより寄贈されたもので、あしかがフラワーパークさまの全面的な協力により、LED電球の電飾が施されています。イルミネーションは2月末まで(点灯時間:17時～21時)点灯されます。是非ご覧ください

点灯前

点灯後

天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会 ENEOSトーナメントに出場しました。

当院野球部が、10月30日(金)～11月4日(水)に岡山県で開催された軟式野球最高峰の大会である天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメントに栃木県代表として出場しました。今大会では、大阪府代表 大阪シティ信用金庫と対戦し、惜しくも初戦敗退となりました。

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
足利赤十字病院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
大阪シティ信用金庫	2	0	0	0	0	0	0	1	×	3

栄養課の窓

お手軽朝食で元気な1日に

朝食を食べて、1日を活動的に過ごすスイッチを!!

足利市では男性で30代、女性では20代で朝食欠食が多い[1)]

1）平成30年度健康と食育に関するアンケート

サーカディアンリズム[2)]を整える

朝食を食べるメリット

- 体温を上昇させ、身体が1日の活動の準備を整える
- 寝ている間に消費したエネルギーや栄養素を補う
- 大腸の蠕動運動を起こすことで排便のリズムを作る

2）サーカディアンリズム：からだの基本的な機能（体温調節やホルモン分泌）の24時間周期のリズム

朝食を食べないデメリット　生活習慣病のリスク

- 空腹を満たすために1回の食事量が多くなる
- 血糖値は急上昇し、インスリンが過剰分泌され糖を脂肪として蓄積　➡　肥満の原因

電子レンジで出来るほうれん草のキッシュ

冬の旬の野菜：ほうれん草

本来、冬採り野菜のため、ビタミンCは夏採りの約3倍!
他にもβ-カロテン、鉄分など豊富な栄養素が含まれています。特にβ-カロテンは免疫強化作用や老化を防ぐ抗酸化作用があり、効率的に吸収するには油や脂質の多い食品と一緒に摂取することがおすすめです。

材料［1人分］

- キッシュ
  - ★
    - ほうれん草 20g
    - ベーコン 20g
    - 顆粒コンソメ 1.5g
    - コショウ 少々
    - 食パン(6枚切り) 1枚
    - 卵 1個
    - とろけるチーズ 15g
- サラダ
  - ミニトマト 40g
  - レタス 70g
- リンゴ 100g
- 牛乳 200ml

■栄養成分（1人分）:エネルギー:537kcal　たんぱく質:24.1g　塩分:2.2g

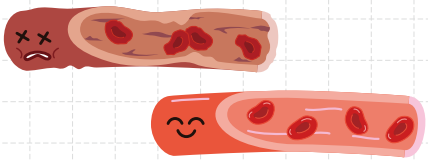
～キッシュの作り方～

1. ほうれん草、ベーコンを1cmサイズにカット（ほうれん草は冷凍でもOK）。
2. ボールに卵を溶き、★を混ぜ、とろけるチーズを加える。
3. 耐熱容器（正方形のタッパーなど）に食パンを入れ、②をかける。
4. ふんわりラップをかけ、電子レンジ600Wで3分加熱する。
5. サラダやフルーツを盛り付けて、出来上がり。

管理栄養士　大森 早織

薬剤の豆知識

脂質異常症



血液中のコレステロールやトリグリセライドが異常に多くなったり、善玉のHDLコレステロールが低下したりする病態をいいます。自覚症状がほとんどあらわれませんが、動脈硬化を引き起こして、虚血性心疾患や脳血管疾患などの重篤な病気の原因となるため、早期に発見して、治療をおこなうことが大切です。

食事･運動療法などの生活習慣の改善によっても血中脂質の値が低下しない場合、必要に応じて薬物療法がおこなわれます。

スタチン　コレステロールの生合成を阻害し、コレステロールを低下させる。

フィブラート系　コレステロール･トリグリセライドの合成を阻害します。

など、個々の患者の状態によって、最適な薬剤は異なってきます。横紋筋融解症という副作用に注意しなければなりません。自覚症状は筋肉痛や脱力感、褐色尿等です。服用中これらの症状が現れたら、医師の診断を受けましょう。

足利赤十字病院
Japanese Red Cross Ashikaga Hospital
〒326−0843 栃木県足利市五十部町284−1
TEL: 0284−21−0121　FAX: 0284−22−0225　ホームページ http://www.ashikaga.jrc.or.jp/
広報誌「風流鯨」Vol.32／令和3年1月29日発行　　編集･発行／足利赤十字病院広報委員会